

今夏の省エネ・節電対策の結果について

1 中部電力管内の実績

- 7月2日(月)～9月28日(金)の平日(8月13日～15日を除く)＝「政府の数値目標を伴わない全国共通の節電要請期間」における**最大電力は、2,478万kW(7月27日)**であり、中部電力の見通し(最大2,648万kW)と比べ、170万kW下回った。
- 2010年(猛暑時)夏季の最大電力(2,709万kW)との比較では、91.5%(▲8.5%)となった。
- **供給予備率が、安定供給の目安とされる8%を下回ったのは、計4日(7/27(7.3%)、8/30(5.4%)、9/7(6.2%)、9/13(7.1%))**いずれも電力融通後)であった。
- 以上のとおり、中部電力管内の今夏の最大電力は、当初の見通しを下回り、他社に融通しながらも、全体として安定的に推移したと考えられる。
- その要因としては、住民や管内企業に、**昨年来定着した節電意識が浸透**していること、中部電力による**管内への節電要請の効果が想定以上に発揮**されたことが考えられる。

【7月～9月の平日(8/13～15を除く)の電力需給等の実績】

	7月	8月	9月
最大電力	2,478万kW (7月27日)	2,440万kW (8月30日)	2,362万kW (9月5日)
供給予備率(最低)	7.3% (7月27日)	5.4% (8月30日)	6.2% (9月7日)
平均最高気温 ()は一昨年	31.7℃ (32.3℃)	33.6℃ (34.3℃)	31.2℃ (30.5℃)
猛暑日日数 ()は一昨年	計5日 (計6日)	計3日 (計9日)	1日 (計5日)

【参考：中部電力の見通し(5/18時点)】

最大電力 ※ ¹	2,648万kW
供給力	2,785万kW
供給予備力	137万kW
供給予備率(%)	5.2% ※ ²

※¹ 2010年猛暑1点最大電力に、定着した節電を織り込んだもの

※² 最大電力を「最大3日平均電力」に置き換えると、供給予備率は8.1%

2 「愛知県の2012夏季の省エネ・節電アクションプラン」の実績

- 節電強化期間(7月2日(月)～9月7日(金))の平日(8月13日～15日を除く)における**本庁3庁舎(本庁舎・西庁舎・自治センター)**の合計では、**最大電力が2,711kW(8月23日)**となり、2010年(猛暑時)夏季に対して**92.2%(▲7.8%)**となった。(事務局計画ベースの5.1%を上回る削減率)

【節電強化期間の最大電力と2010年(猛暑時)との比較】

	本庁舎・西庁舎・自治センター
2012年の最大電力	2,711kW (8月23日)
2010年の最大電力	2,941kW (9月1日)
対2010年比	92.2% (▲7.8%)

<参考>

地方機関の**5総合庁舎(三の丸、海部、知多、西三河、東三河)**については、日にち単位での最大電力が不明であるため、便宜的に、5庁舎それぞれが7、8月の2か月間で記録した最大電力を単純合計したもので比較すると、**今夏は1,476kW**となり、2010年(猛暑時)の同値**1,692kW**に対して**87.2%(▲12.8%)**となった。

3 今後の取組

- 「愛知県の2012夏季の省エネ・節電アクションプラン」は9月28日をもって終了したが、10月12日(金)までは、「あいちエコスタンダード」の取組強化期間が継続するため、事務室の昼休み時間中の消灯等、普段からの省エネ・節電の取組を徹底する。
- 今冬の需給対策については、中部電力が精査を始めており、今後、国や中部電力の動向を注視しながら、本県としても適切な対策を講じていく。